

Data Analytics Forum 2018

今こそ再考、データ戦略

～AI・IoT時代を勝ち抜くための準備と実行すべき施策～

2018年7月9日(月)10:00～17:30／東京コンファレンスセンター・品川 5F 大ホールB 〒108-0075 東京都港区港南1-9-36 アレア品川5F

▼ 下記個人情報の取り扱いに同意のもと、申込欄に名刺を貼付していただか、
必要事項を記入し、FAXでお申ください。

申込日
2018年 月 日

氏名	フリガナ（※必ず記入ください）
名刺貼付枠	
会社名	業種
部署	役職
住所 〒	
TEL	FAX
E-mail	
※お申込みの登録確認、開催のご案内を差し上げますので、出来る限りご記入ください。	
記入者氏名 (ご参加者と同じ) 場合は不要	支払い担当者

お申込みFAX番号

03-3518-6534

右記ウェブサイトからもお申込みいただけます <http://www.b-forum.net/data2018>お問い合わせ 株式会社ビジネス・フォーラム事務局 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-2 センタークレストビル9F TEL:03-3518-6531 受付時間 9:30～18:00
(土・日・祝日を除きます)

個人情報の取り扱いについて

*本申込書でご提供いただく個人情報は、イベント参加申し込みを適切に受け付けて管理するため、及び株式会社ビジネス・フォーラム事務局(以下弊社)が提供するサービスに関する情報を電子メール等でご提供するために利用します。

*個人情報の第三者提供について:当個人情報は、以下の通り第三者に提供いたします。
[第三者に提供する目的]・本イベントを適切に運営するため

[提供する個人情報の項目] 御社名、部署名、住所、TEL、FAX、お名前、メールアドレス、他本申込書でご提供いただいた項目

[提供の手段又は方法] 直接書面、または電子データにて提供いたします

[当該情報の提供を受ける者又は提供を受ける者の組織の種類、及び属性] 当該情報の提供を受ける者は、本イベントの協力企業(主催・共催、後援、協賛など)

[個人情報の取扱いに関する契約がある場合はその旨] 弊社と本イベントの協力企業(主催・共催、後援、協賛など)との間に個人情報の取扱いに関する契約はございません

*当個人情報の取扱いを委託することができます。委託にあたっては、委託先における個人情報の安全管理が図られるよう、委託先に対する必要かつ適切な監督を行います。

*当個人情報の利用目的の通知、開示、内容の訂正・追加または削除、利用の停止・消去および第三者への提供の停止(「開示等」といいます。)を受け付けております。開示等の求めは、以下の「個人情報苦情及び相談窓口」で受け付けています。

*任意項目の情報のご提供がない場合、最適なご回答ができない場合があります。

<個人情報苦情及び相談窓口> 株式会社ビジネス・フォーラム事務局 個人情報保護管理者 取締役 松田 熟 TEL:03-3518-6531(受付時間 9:30～18:00 ※土日祝日を除く)

Data Analytics Forum 2018

今こそ再考、データ戦略

～AI・IoT時代を勝ち抜くための準備と実行すべき施策～



開催趣旨

もはやビジネスにおいて『データ』は経営資源としての特色・存在感をより強め、企業の戦略・成長にとって欠かせないものとなっています。そして、AI・IoTをビジネスで活用する時代へと移行している今、『データ』を活用して他社との差を生み出すことは、ビジネスに勝ち残る前提となるでしょう。これは、まさに経営に直結するテーマであり、マネジメント層は『データ』を利活用した戦略を主導していくことが求められています。

米欧企業やスタートアップ企業に比べ『データ』活用の遅れを指摘する声もきかれ、『データ』の活用に二の足を踏んでいると、数年後の近い未来にも、淘汰されてしまう危険性を孕んでいます。また、ビジネスの勝敗を大きく左右する『データ』は、今この瞬間にも生まれ、その分析・解析スピードが益々早くなっていることに視点をむけてみると、もう猶予はありません。

このような背景から考えると、企業の【データ利活用】は喫緊の課題です。時代の過渡期である今こそ、積極的に行動し変化し、これからのビジネスで勝つための第一歩を踏み出す時です。AI・IoT時代を勝ち抜く戦いは、既に始まっています。

では、どうしたら上手く【データ利活用】できるのか?業種・業態によって競争力の源泉となる『データ』の要素は異なるものの、『データ』を収集し蓄積するための手法(基盤づくり)、『データ』の利活用を進める組織体制、先行する【データ利活用】の流れと、新たな挑戦への心構えを学ぶことは、今後を勝ち抜くための多くの示唆が得られるはずです。

このフォーラムでは、企業の【データ利活用】を阻む課題を分析し、積極的な改善へのアプローチや取り組むべき施策へのヒントを考察します。また、皆さまの課題解決促進や、【データ利活用】の推進へ向け多くのヒントを得ていただくため、事例紹介に止まらず、対談と質疑応答を加えたセッション構成で理解を深めて参ります。

本格的なAI・IoT時代を前に、貴社における更なる【データ利活用】の推進と、勝てる企業へと変わるための情報収集に、ご活用ください。

講演者略歴

株式会社 村上憲郎事務所

代表取締役 前 グーグル日本法人名誉会長

村上 憲郎 氏

1970年 京大卒業後、日立電子株式会社のミニコンピュータのシステムエンジニアとしてキャリアをスタートした。1978年 日立電子のミニコンからの撤退に伴いDigital Equipment Corporation(DEC)Japanに転籍、通産省第五世代コンピュータプロジェクトの担当を務める中で、人工知能(AI)分野の知見を修得。1986年から、米国マサチューセッツ州の DEC 米国本社人工知能技術センターに5年間勤務した。



日本アイ・ビー・エム株式会社

専務執行役員 IBMクラウド事業本部

アナリティクス事業部長

三瓶 雅夫 氏

1989年4月 日本アイ・ビー・エム株式会社入社。
米国IBM本社勤務を経て、金融事業部 ソリューション事業部長、未来価値創造事業 クラウド・スマート事業部長、システム製品事業 執行役員
セクター営業担当などの要職を歴任。2018年より現職。



日本アイ・ビー・エム株式会社

アナリティクス事業部

Data Platform Strategy Leader

四元 菜つみ 氏

大学卒業後、金融系の情報サービス会社に入社。
OracleDBのSE等を経験した後、日本アイ・ビー・エム株式会社に入社。データベース技術営業を経て、2017年より現職。



シャープ株式会社

IoT事業本部 IoTクラウド事業部

サービスマーケティング部 部長

松本 融 氏

1991年 入社。パーソナルモバイルツール「ザウルス」の商品企画や、液晶テレビAQUOS向けネットサービス企画・運営、電子書籍ストアサービス事業などを経験し、現在に至る。現在は、シャープの掲げるビジョン「AIoT」を具現化するネット対応家電向けの新たなサービス事業の開発運営に従事。AIoT化されたテレビや白物家電などに向けて各種クラウドサービスを展開中。



株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス

CTO

相馬 賢司 氏

2013年 入社、技術運用本部に所属し、認証システムや関連システムのアーキテクチャ設計に従事。現在はサービス向上とプロセス改善を目指し、クラウド連携、自動化、データ利活用などの推進に携わっている。



PROGRAM

10:00-11:00 特別ゲスト講演

IoT、ビッグデータ、人工知能が切り拓く、第4次産業革命

IoT、ビッグデータ、人工知能、という3つの言葉を新聞紙上で見かけない日が無い。そして、これらの言葉が指し示すICTの新地平は、『第4次産業革命』といった社会全体を巻き込む大変革を切り拓くと言われ始めている。講演では、この3つの技術を概説すると共に、その相互連関とその結果として想定される『第4次産業革命』のもたらす『Society5.0 超スマート社会』と、マネジメント層が押さえておくべきポイントを素描する。

株式会社 村上憲郎事務所 村上 憲郎 氏

講演内容のポイント

日本政府が提唱しているテクノロジーを活用した社会の仕組みである『Society5.0』。この構想を実現するために必要なのが IoTやAIなどで生み出されるデータです。データを介して様々なサービス・産業がつながり、より大きく・多様なイノベーションやビジネスチャンスが起きることが予想される中、ビジネス戦略の舵をとるマネジメント層へ向けた指針とともに、新たな時代を生きるためにヒントをお話しいただきます。

11:00-11:40 基調講演

There is no AI without IA (Information Architecture)

～ビジネスを加速させる次世代データプラットフォーム～

- データから価値を生み出し、ビジネスを加速するために必要な要件とは
- データの管理、連携、分析を促進する「次世代データプラットフォーム」の考え方
- それを実現する新しいオールインワン・ソリューションの概要

日本アイ・ビー・エム株式会社 三瓶 雅夫 氏

日本アイ・ビー・エム株式会社 四元 菜つみ 氏

講演内容のポイント

AI、機械学習、IoTなどのテクノロジーが定着してきたのはこのわずか数年のことですが、IBMは数十年にわたりデータとアナリティクスに関する最新テクノロジーを市場に届け続けている、世界有数のリーディング・カンパニーです。本講演では多くの先進企業とのデータから価値を生み出すプロジェクトを通して完成された、「次世代データプラットフォーム」という考え方を紹介いただきます。また、企業の次世代データプラットフォームの実現を支援する新製品IBM Cloud Private for Dataの概要についてご講演いただきます。

11:40-12:25 ランチタイム ※お弁当・お茶をご用意しております。

12:25-13:45 事例セッション【課題考察①：データ収集・蓄積方法】

※本セッションは、2社の事例考察(各30分間)の後、対談・質疑応答時間(20分間)から考察を深めます。

シャープが推進するAIoT戦略とデータ活用

- シャープの取り組むAIoT戦略の概要 ■ エレクトロニクス機器のAIoT化
- 人に寄り添うサービス「COCORO+」 ■ COCORO+に対応した製品・サービスの具体例
- 家電データによる生活者理解 ■ データ利活用について

シャープ株式会社 松本 融 氏

ワイヤ・アンド・ワイヤレスのデータ収集・蓄積方法からの考察

～どうデータを収集し、蓄積し、利活用へつなげていくか～

- データ収集・蓄積基盤を構築する際の勘所
- 今後のデータ活用へつなげるため、注意すべきポイント

株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス 相馬 賢司 氏

対談

新たな価値創造へ向けた準備

～どうデータ収集し蓄積し利活用へつなげていくか～

進行役：株式会社ビジネス・フォーラム事務局 プロデューサー 進士 淳一

講演内容のポイント

『AIoT』(Artificial Intelligence of Things)の実現に向け、家庭にあるスマート家電のデータ収集・分析プラットフォームを開拓するシャープ。そして、訪日外国人が20万ヶ所以上で利用可能な『TRAVEL JAPAN Wi-Fi』を運営し、膨大な位置・行動データを処理しているワイヤ・アンド・ワイヤレス。様々な場所からバラバラに集まつてくる膨大なデータは、どのように収集・蓄積されているのでしょうか。新しいサービス・分析の源泉となるデータの収集方法や管理・運用基盤(蓄積方法)についてのポイントを考察し、データの有効利用へつなげる基盤構築の重要性を伺います。

13:45-13:50 ショートブレイク

13:50-15:10 事例セッション【課題考察②：組織的データ構築・管理・利用プロセス】

※本セッションは、2社の事例考察(各30分間)の後、対談・質疑応答時間(20分間)から考察を深めます。

データドリブンのキードライバー組織としてのあゆみ

- キードライバー組織となるための努力
- データ活用推進で今尽力していること

株式会社NTTドコモ 白川 貴久子 氏

データ・ドリブン・カンパニーへ～データ分析で会社を変える・事業戦略を革新する

- 顧客戦略マップの構築
- 行動データ分析と認知データ分析

スマートニュース株式会社 西口 一希 氏

対談

データ分析からネクストアクションへつなげるために～使ってもらえるデータへの仕掛け・体制づくり～

進行役：株式会社ビジネス・フォーラム事務局 プロデューサー 進士 淳一

講演内容のポイント

NTTドコモは、組織におけるデータ分析・活用の仕組みを整え、さらなるサービスや価値提供への歩みを進めています。リーダーとして、データ分析の輪を社内に広げてきた白川様から、その経験とご見知りを伺います。また、ロクシタンジャパンの業績を、データ分析を軸に革新された実績をお持ちの西口様からは、全社でデータを活用し効果を上げるための秘訣を伺います。会社・組織で【データ利活用】を進め変革を遂げるためのヒントを、お二人のご経験からひも解きます。

15:10-15:25 コーヒーブレイク

15:25-16:05 ラップアップ講演【課題考察からのヒント・ポイント整理】

企業としてデータ分析力をどのように高めるか

- データ活用で成功している企業はどこが違うのか
- チームとしての分析力を高めるためのツールの選択法
- 分析結果を業務に組み込み、具体的な成果につなげるために必要な分析基盤とは

日本アイ・ビー・エム株式会社 西牧 洋一郎 氏

講演内容のポイント

データ分析エリアで多くの先進的な取り組みを支援してきた日本IBM。昨今は高度なデータ活用により市場競争力の高いビジネスモデルへと進化する企業が増えているといいます。本講演では、データ活用で成功している企業の特徴を明らかにするとともに、分析者の様々なニーズに応えチームとしての分析力を高めるためのツールの選択法や、分析結果を業務に組み込み具体的な成果につなげるために必要な分析基盤、実現に向けたアプローチなどについてご紹介いただきます。

16:05-16:10 ショートブレイク

16:10-17:30 事例セッション【先進事例考察：先進的なデータ利活用推進の背景を知る】

※本セッションは、2社の事例考察(各30分間)の後、対談・質疑応答時間(20分間)から考察を深めます。

楽天が取り組むデータ活用の新しい挑戦、Creative AIへの道

今現在、「AI(人工知能)」という新しい潮流が社会そのものを変革する可能性をもつと注目を浴びており、楽天の研究開発組織である楽天技術研究所においても幅広いAI研究を推進している。本講演では、研究所でのデータを活用したAI開発の事例を引きながら、「個別化時代」という特殊な時代ゆえの課題を解説し、そして今後来る「Creative AI」への挑戦について述べる。

楽天株式会社 森 正弥 氏

調整中 (*WEBサイトから最新情報をご確認ください。)

► <http://www.b-forum.net/data2018/>

対談

データ活用で探る新たな価値創出戦略

～加速するデータ利活用の重要性とビジネス戦略の未来～（仮）

進行役：株式会社ビジネス・フォーラム事務局 プロデューサー 進士 淳一

講演内容のポイント

調整中 (*WEBサイトから最新情報をご確認ください。)

株式会社NTTドコモ

情報システム部情報戦略担当部長 兼
営業本部マーケティング部マーケティング戦略担当部長

白川 貴久子 氏

NTT入社後関西で主に法人営業と人材開発に従事。1997年 NTTドコモ関西転籍後、広くコンシューマーマーケティングを担当。2009年 情報システム部情報戦略担当(現職)、2014年 マーケティング部担当部長 兼務(現職)。社外では2001年より日本マーケティング協会関西マーケティングマイスター、2016年よりマイスター代表。2012年より日本データマネジメントコンソーシアム理事。



スマートニュース株式会社

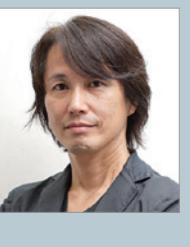
執行役員 マーケティング担当

Strategy Partners 代表取締役

元ロクシタンジャパン株式会社 代表取締役社長

西口 一希 氏

1990年 P&G入社後、ブランドマネージャーを経てマーケティングディレクターを17年担当。2006年 ロート製薬入社、執行役員 CMOとして、肌ラボを年間売上30億から160億超えまで育成。2015年 ロクシタン代表取締役社長に就任。アジア人初のGlobal Executive Committee Member、外部取締役 戦略顧問。現在 Strategy Partners 代表(コンサルティング業務及び投資活動)、SmartNews 執行役員 SVP 日本及び米国のマーケティング担当。



日本アイ・ビー・エム株式会社

クラウド事業本部 アナリティクス・テクニカルセールス

西牧 洋一郎 氏

エスピーエス・エス株式会社を経て、2009年 IBM のSPSS統合に伴いIBMソフトウェア事業へ。流通業・通信業担当ITスペシャリストとして、顧客分析をはじめとする数多くのデータ分析プロジェクトに携わる。



楽天株式会社

執行役員

楽天技術研究所代表 楽天生命技術ラボ所長

森 正弥 氏

06年 楽天株式会社入社。現在、同社 執行役員 兼 楽天技術研究所代表 兼 楽天生命技術ラボ所長。世界の各研究拠点のマネジメントに従事。日本データベース学会 理事、企業情報化協会 常任幹事。著作に「クラウド大全」(日経BP社、共著)、「ウェブ大変化 パワーシフトの始まり」(近畿セールス社)がある。



Data Analytics Forum 2018

今こそ再考、データ戦略